



一隅を照らす運動総本部だより  
No.  
70



一隅を照らす運動ホームページアドレス  
<https://ichigu.net>



## 「一隅を照らす運動」会長に妙法院門跡門主杉谷義純大僧正が就任



令和七年三月に会長であられた浦井正明大僧正が御遷化された。そのため同年七月九日に開催された「一隅を照らす運動」理事会において、杉谷義純師が全会一致の推薦を受け、会長に就任された。

杉谷新会長は、昭和十七年生まれの八十三歳。昭和四十三年に東京教区圓珠院の住職、平成五年から平成九年まで一隅を照らす運動理事長に就任し、平成十四年からは「一隅を照らす運動顧問」を務めている。また、平成二十九年より京都教区妙法院門跡の門主を務めている。

## 第二十三回 心のつどい in 比叡山

七月十五～十六日 比叡山延暦寺会館

第二十三回「心のつどい in 比叡山」（一隅を照らす運動総本部主催）を比叡山延暦寺で開催。一般公募で集まつた男女十名が参加した。

開講式では、荒樋勝善一隅を照らす運動総本部長より挨拶があり、続いて日程や注意事項等の説明の後、研修会がはじまった。



最初に、延暦寺総務部主事磯村良定師の案内のもと根本中堂改修工事現場の見学を行つた。屋根銅板や廻廊どち葺き屋根の葺き直し、色鮮やかな彩色の墓石などを見学でき、参加者たちは熱心に説明に耳を傾けていた。

次に、禅定林住職サンガラトナ・法天・マナケ師による法話が行われた。生い立

ちやインド禪定林の沿革などについてお話しされ、「人生において現在何を振り所として生きるかが大切である」と説かれた。

夕食後には延暦寺一山真乘院住職譽田玄樹師による法話が行われ、回峰行と葛川夏安居についてお話しされた。

その後、延暦寺一山樹師による法話が行われた。法話からは葛川夏安居に対する熱意と覚悟を感じられた。

その後、僧侶を交えて和氣あいあいとした雰囲気の中で座談会が行われた。参加者たちは普段話をする機会が少ない僧侶へ質問をし、とても有意義な時間を過ごすことができた。

二日目は早朝より根本中堂での朝勤行に随喜し、坐禪止觀を行つた。例年は根本中堂において坐禪止觀を行つていただが、今回

は大書院で行つたため、いつもと違つた雰囲気で集中して座ることができた。

続いて、還来神社へ移動し、五日間の葛川夏安居の出峰に随喜して回峰行者の御加持を受けた。回峰行者は

参加者からは、「ありがたい経験ができた」「何物にも代えられない財産となつた」と感想をいただいた。

## 第二十四回

### 一隅を照らす運動公開講座

九月二十九日 天台宗務序大会議室

一隅を照らす運動総本部では令和七年九月二十九日、天台宗務序大会議室において第二十四回一隅を照らす運動公開講座を開催した。一般の方々に参加を呼びかけ、約百三十名の参加者が集まつた。



次の目的地へと向かつていった。

その後、延暦寺大靈園に移動し、延暦寺一山

明徳院住職中山

玄童師による法話が行われた。

夏安居や葬儀についてお話ししいたとき、参加者からの質問に親

身に回答してい

た。最後に閉講式と園内の見学を行い、全日程を終了した。

参加者からは、「ありがたい経験ができ

た」「何物にも代えられない財産となつた」と感想をいただいた。



今回の公開講座では、講師に甲南病院理事長の古倉みのり先生を迎え「私の病院内の一隅」比叡山のお坊さまによる院内法話会と命のお話「～」と題して講演が行われた。講演では、院内法話会や三日月滋賀県知事の取り組みである死生懇話会について話された。

また、つらい時期を乗り越える方法や、輪廻転生について述べられた。

講演終了後には、質疑の時間が設けられ、参加者からの質問に丁寧に答えられ、参加者一同充実した面持ちであった。

## ■ ■ ■ 一隅を照らす運動推進大会 ■ ■ ■

### 兵庫教区

兵庫教区本部（井上真円教区本部長）では、令和七年六月五日に丹波市立ライフピアいちじまにおいて、一隅を照らす運動推進大会が開催され、三百十名が参加した。



はじめに、井上教区本部本部長による挨拶、荒桶勝善一隅を照らす運動総本部長による祝辞が述べられた。

次に兵庫教区檀信徒総会が行われ、令和六年度事業報告や会計決算、また令和七年度の事業計画案、会計予算案が審議された。

続いて、一



東海教区本部（山田亮盛教区本部長）では、令和七年六月十四日に愛知県にある覚王山日泰寺において、檀信徒総会並びに一隅を照らす運動東海教区推進大会が開催され、百名の参加があった。

はじめに山田教区本部長を導師に法楽が行われ、荒桶勝善一隅を照らす運動総本部長による祝辞が述べられた後、檀信徒総会が開催された。

続いて、平等院住職神居文彰師による「いのちと音の輝き」と題した講演が行われた。「音」に関して文学・仏像・絵

最後に三千院門跡門主小堀光實師による「伝教大師さまの御心（みこころ）を通じて」寄り添う心は尊し」と題した講演が行われた。講演では伝教大師さまの御心の実践である「一隅を照らす」について述べられた。

### 東海教区

神奈川教区

神奈川教区本部（加藤浩照教区本部長）では、令和七年六月十五日に神奈川県平塚市にあるカルチャーボンズ平塚にて、一隅を照らす運動推進大会が開催され、三百名が参加した。

開会の言葉の後、加藤教区本部長を導師に法楽が行われ、加藤教区本部長と荒樋勝善一隅を照らす運動総本部長による挨拶が述べられた。

その後、募金寄託式が行われ、一隅を照らす運動総本部へ目録が手渡された。



ミニコンサートが東海教区檀信徒会会长深谷英治氏の指揮により行われ閉会となつた。ストラによる崎グランドボップスオーケ

参加者は興味深く聞き入つていた。

その後、岡

藤大恵師より

一隅法話、天

台宗防災士協

議会副会長西

郊良貴師より

防災士報告が

なされた。

休憩を挟み、

最後に神奈川

教区教学布教

法儀研修所所

長土屋慈恭師

を導師に平和

復興祈念法要

として大般若

転読会が厳修

された。参加

者は空中に広

がる『大般若

波羅蜜多經』

に見入つてい

た。



続いて、神奈川教区布教師会会长須藤大恵師より  
一隅法話、天台宗防災士協議会副会長西郊良貴師より  
防災士報告がなされた。

休憩を挟み、最後に神奈川教区教学布教法儀研修所所長土屋慈恭師を導師に平和復興祈念法要として大般若転読会が厳修された。参加者は空中に広がる『大般若波羅蜜多經』に見入つてい



は、令和七年六月二十三日に千葉県勝浦市にある勝浦市芸術文化交流センターにて、一隅を照らす運動推進大会が開催されました。九名が参加しました。

まず檀信徒連合会副会長である藤平由之氏の開会の言葉があり、福聚教会南総本部「茅花の会」による御詠歌の奉詠、法楽が行われた。続いて教区本部長の挨拶や来賓挨拶等が行われた。

休憩の後、一隅を照らす運動広報大使である露の団姫師によつて、「仏教落語」が

は、令和七年六月二十三日に千葉県勝浦市にある勝浦市芸術文化交流センターにて、一隅を照らす運動推進大会が開催されました。九名が参加しました。

まず檀信徒連合会副会長である藤平由之氏の開会の言葉があり、福聚教会南総本部「茅花の会」による御詠歌の奉詠、法楽が行われた。続いて教区本部長の挨拶や来賓挨拶等が行われた。

休憩の後、一隅を照らす運動広報大使である露の団姫師によつて、「仏教落語」が



東京教区

芸人であるみほとけ氏による「仏像と私」  
一隅を照らすについて考えてみたこと」  
と題した講演がなされ 仏教の魅力につい  
てユーモアを交えて熱弁された。

東京教区本部（林照教区本部長）では、令和七年六月二十九日に大正大学において、「仏教にふれる梅雨のひと時」をテーマに一隅を照らす運動推進大会が開催され、三百五十名が参加した。

前半と後半に分かれてワークショッピングが開かれ、福昌寺副住職飯沼康祐師による「精進料理を学んで、お粥を味わう」と題した

「う」と題した  
精進料理会や、  
昨年に引き続  
いて地獄VR  
(仮想現実)、  
腕輪念珠作り  
や匂い香作り、  
写経・写仏体  
験、坐禅体験  
といった体験  
教室が行われ  
好評であった。  
また、仏師林  
雄一師による



福島教団

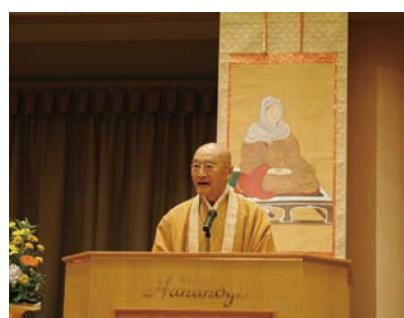


は、令和七年  
七月二十一日  
に福島県郡山  
市にあるホテ  
ル華の湯にて  
福島教区檀信  
徒総会並びに  
一隅を照らす  
運動推進福島  
大会が開催さ  
れ、二百五十  
名の参加があ

か行われ、鶴山流御詠歌の歴史や福聚教会の活動についてお話をされた。その次に、善光寺大勧進貫主栢木寛照師によつて「宗教の原点を見る」と題した講演が行われ、善光寺の歴史や本尊などについてお話をされた。参加者は予定数を超え、大盛況であつた。

陸奥教区

陸奥教区本部（千葉亮賢教区本部長）では令和七年九月五日に岩手県奥州市にある前沢ふれあいセンターにて一隅を照らす運動岩手大会が開催され、四百名が参加した。今大会は三部で構成されており、第一部



はまず、福聚  
教会福島本部  
高松觀音寺支  
部会員より  
「念佛の御和  
讃」の奉納と、  
福島教区布教  
教会総本部講  
師矢島寛章師



では開会の辞に続いて千葉教区本部長による挨拶や、四竈亮真天台宗参務法人部長による祝辞、叡山講福聚教会陸奥地方本部会員による「伝教大師報恩並びに災害復興祈念法要」と題した御詠歌が奉納された。第二部では一隅を照らす運動広報大使である露の団姫師によつて、「仏教落語」が披露され、次に大槌城山虎舞による勇敢な演舞が披露された。第三部では「災害・たすけあい・みとめあい」をテーマに座談会が行われ、意見交換がなされた。最後に地球救援募金に淨財が寄託され閉会となつた。

## 一隅を照らす運動ニュース

### ◎「一隅を照らす運動」理事会を開催

令和七年七月九日、天台宗務

府（滋賀県大津市）において令



和七年度第一回「一隅を照らす運動」理事会が開催された。本理事会において、浦井正明「一隅を照らす運動」会長の御遷化にともない、新たに杉谷義純師が会長として全会一致の推薦を受け就任された。

また國岡恵心「一隅を照らす運動」監事の御遷化にともなう、監事交代の報告がなされた。

議題としては、令和六年度「一隅を照らす運動」の事業報告、各会計の決算等が審議・承認された。

参加した理事からは「一隅を照らす運動」の広報宣伝活動や、「一隅を照らす運動」団体会員に加えて教区本部に直属の会員を設けられるのかなど意見が出された。

**【会長】**  
杉谷 義純師 京都教区  
妙法院住職・新任

**【監事】**  
西川 実巧師 兵庫教区  
如意輪寺住職・新任



円を寄託。  
寄託式当日は、荒樋勝善一隅を照らす運動総本部長は、荒樋勝善より国連U N H C R協会の広報宣伝事務局長に目録が手渡された。

◎日本ユニセフ協会へ支援金および義援金を寄託



令和七年八月四日、比叡山宗教サミット三十八周年「世界平和祈りの集い」(比叡山延暦寺)が開催され、その開式前に一隅を照らす運動総本部地球救援事務局より日本ユニセフ協会へ支援金および義援金の寄託式を行った。

本年は、一隅を照らす運動総本部にてお預かりしている救援協力金の一部より「世界の子どもたちの福祉と教育支援金」としての二百万円に加え、「二〇一五年ミャンマー地震救援金」より、百九十二万一千三百四十五円も併せて寄託された。

当日は、荒樋勝善一隅を照らす運動総本部長より日本ユニセフ協会早水研専務理事にそれぞれの目録が手渡された。

◎パンニヤ・メッタ巡回医療活動再開式並びに現地視察

一隅を照らす運動総本部は、令和七年九月十二日から十六日の日程で荒樋勝善一隅を照らす運動総本部長と職員一名がインドを訪問。同国の天台宗寺院「禪定林」住職のサンガラトナ・法天・マナケ師が代表を務めるパンニヤ・メッタ・サンガ(以下、PMS)による巡回医療活動の再開式への臨席、並びに現地視察をした。

十二日深夜、ナグプール市に到着。翌十三日、同市内のディーケシャーブーミ(改宗広場)を訪問し、ストゥーパ内部の仏舍利塔前で読経、同広場内の菩提樹園では舍



PM学園にて生徒さんに文房具を贈呈。



PMS図書館にて学生さんにボールペンを手渡し。

PM図書館を訪問。図書館を利用している学生や、関係者ら五十名から歓迎を受け、荒樋総本部長が学生さんにボールペンを手渡した。その後、禪定林大本堂を参拝し、

利礼文を唱え、菩提樹の周りを散華行道し、総本部から現地僧侶に記念品を贈呈した。そして、PMSが運営するPM(パンニヤ・メッタ)学園を訪れ、生徒たちから盛大な出迎えを受けた。歓迎式典では、生徒によるダンスが披露され、荒樋総本部長が挨拶し、総本部からのノート・ボールペン・シールを全生徒に手渡した。

続いて、PMS事務所を訪れ、会報『マハサマディ』の発刊記念式典に参加した。荒樋総本部長導師のもと五十名ほどの関係者と共に開式法要を奉修し、関係者らと会報の開封式を執り行つた。式典後、現地記者から取材を受けた。その後、禪定林のあるボーニ市へ移動し、PMS図書館を訪問。図書館を利用している学生や、関係者ら歓迎を受け、荒樋総本部長が学生さんにボールペンを手渡した。その後、禪定林大



巡回医療活動再開式後の支援金目録贈呈の様子。

僧坊で宿泊した。

翌十四日は丸一日をかけて、パンニヤ・メッタ巡回医療の拠点であるシロンチャ町に向けて約四百キロメートルの道程を車で移動した。洪水被害による迂回等の影響で予定より大幅に遅れた到着となり、この日に予定されていた再開式は翌日に延期された。

十五日朝、パリヴァルタン・バワーンを訪問し、巡回医療活動再開式、記念法要を奉修した。関係者と現地住民二十名ほどが集い、荒樋總本部長導師のもと、サンガラトナ師、コチエ・法頂師、総本部職員二名が出仕した。荒樋總本部長、現地関係者からは巡回医療への思いを込めた挨拶があり、総本部から「一隅を照らす」の額装と、医療活動支援金三百万円の目録が贈呈された。その後は、医療支援を行うバマニー村を訪問。同村小学校では、校長先生と生徒約二十五名に出迎えられ、生徒らにPMSへ



医療支援が行われている現地を二ヶ所訪問。バマーニー村小学校（右）では傘を、ベユルパリ村（左）では古着を手渡した。



ベユルパリ村の子どもたち。

いく。今後とも皆さまからのご協力を待ちしております。

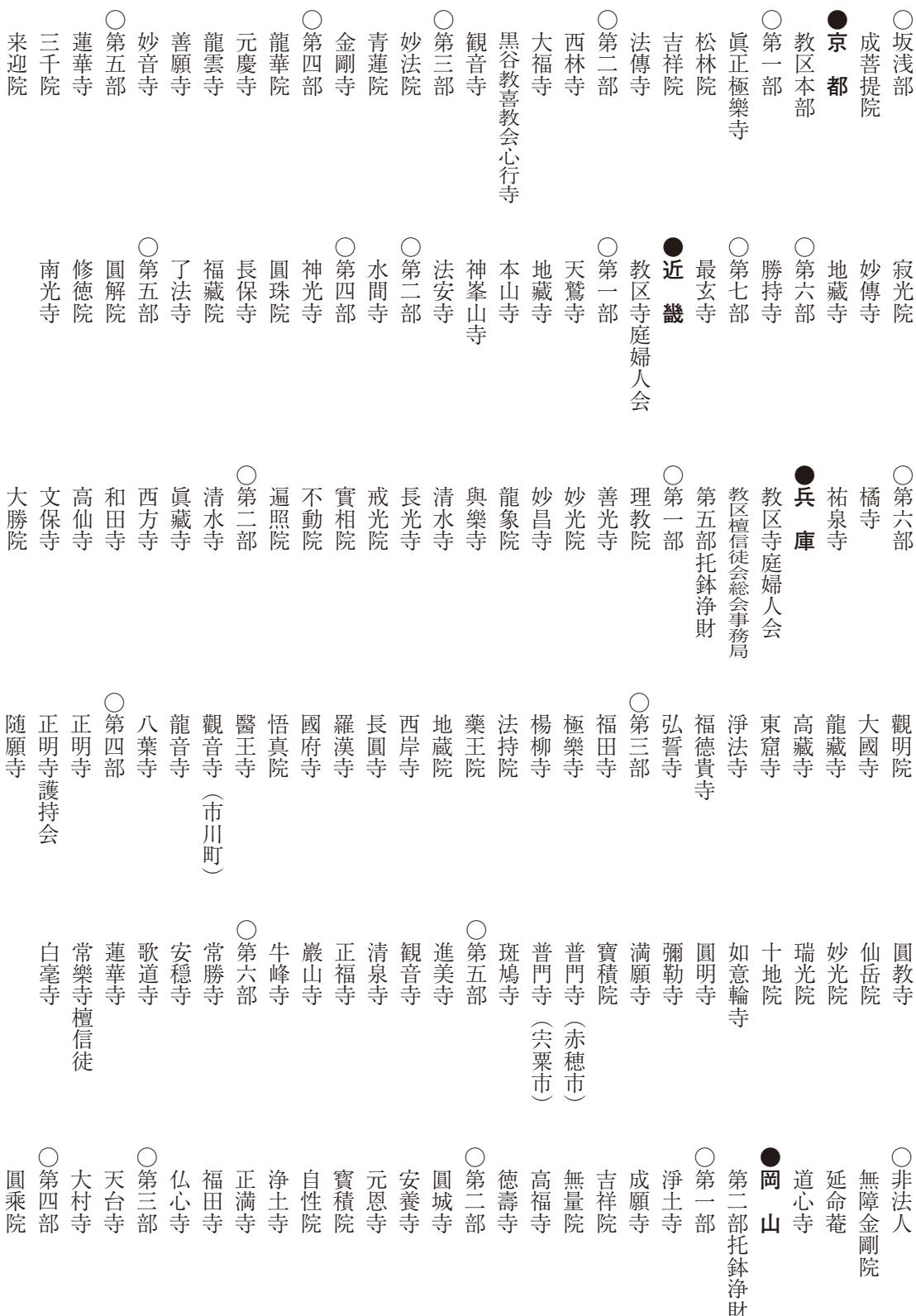
## ◎令和六年能登半島災害義援金の現状と御報告

一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」では、令和六年能登半島地震災害に際し、緊急救援募金を実施。また、同年九月能登半島大雨災害におきましては地震災害と併せて指定寄付として募金をお預かりしております。

これまでにご協力いただきました募金総額は、六千二百六十四万九百七円（令和七年九月末現在）と大変多くの真心こもる浄財をお寄せいただいております。篤く御礼申し上げます。現在も指定寄付として受付をいたしております。ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

についた。  
一隅を照らす運動総本部では引き続き、PMSを通じて現地の皆さまに対する諸々の支援を継続して





一隅を照らす運動総本部だより

待雲寺	福壽院	海藏寺	安養院	妙音院	明王院	圓珠院	龍城院	泉勝院	寂光院	大光院	惠門院	寶性寺	第五部	善應寺	普光寺	觀音寺	新龍寺	千手寺	永年寺	般若寺	第六部	長法寺	多聞寺	本山寺	泰養寺	山陰	教區仏
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	-----

卷之三

○第一部分	觀音院	彌勒寺
○第二部分	觀照院	吉祥院
○第三部分	善光院	輪光院
○第四部分	三佛寺	皆成院
○第一部	妙玄寺	長樂寺
○第二部	普門院	鰐淵寺
○第三部	華藏寺	愛宕寺
○第四部	行泉寺	妙法寺
○第五部	香古寺	大通寺
○第六部	長尾寺	四國善光寺
○第七部	文殊院	神護寺
○第八部	萬燈寺	

○第一教部	●九州東	○第三部	○第二部
東光寺	兩子寺	松岳寺	龍乘院
瑠璃光寺	神宮寺	妙光寺	立石寺
行入寺	成佛寺	等妙寺	光藏寺
○第二教部	明德寺	醫王寺	鏡峰寺
長慶寺	成佛寺	正觀寺	佛性寺
清淨光寺		西法寺	佛性寺
		○第三部	○第二部
		○第一教部	○第一教部

○第三教部	千燈寺 靈仙寺 實相院
○第四教部	應曆寺 無動寺 正平寺
○第五教部	寶滿寺 臨濟寺 觀音院
○第六教部	吉祥院 真光寺 願成就寺
○第七教部	圓通寺 寶乘寺 善正寺
○第八教部	妙見寺 猪鹿狼寺 金光明寺
九州西	教區寺庭婦人會 筑前部 久留米部托鉢淨財 對馬部托鉢淨財

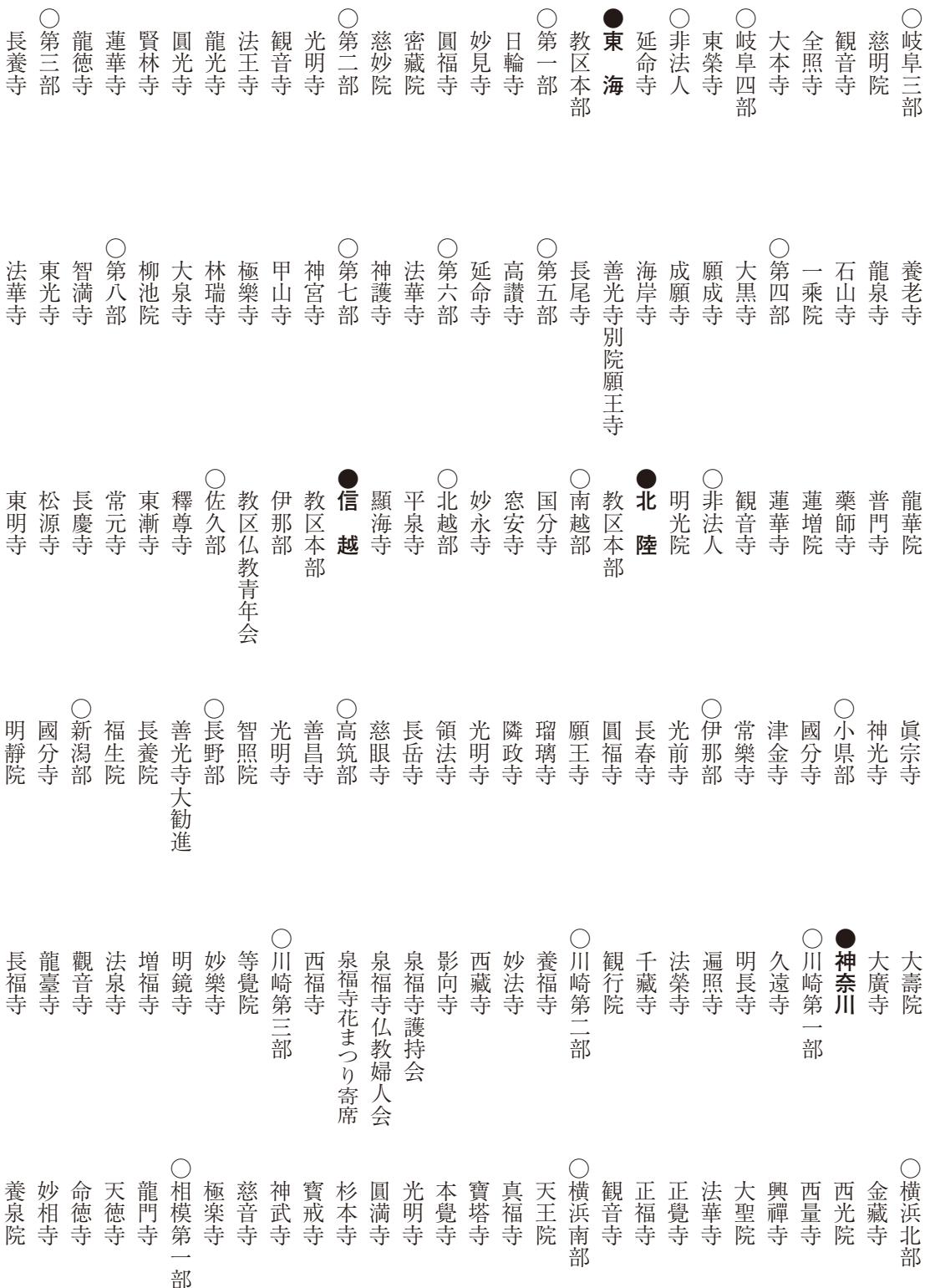
○筑前部	吉祥寺	養源寺	普光寺	久留米部	安國寺	正福寺
○熊本部	觀音寺	大善寺	柳川部	國分寺	坂東寺	長命寺
○肥前東部	地藏院	永興寺	清水寺	延壽寺	長谷寺	圓滿寺
○肥前喜土	長壽寺	相良寺	相良寺	妙法寺	青龍寺	地藏院
○肥前東部	大興善寺	大興善寺	大興善寺	大興善寺	大興善寺	大興善寺

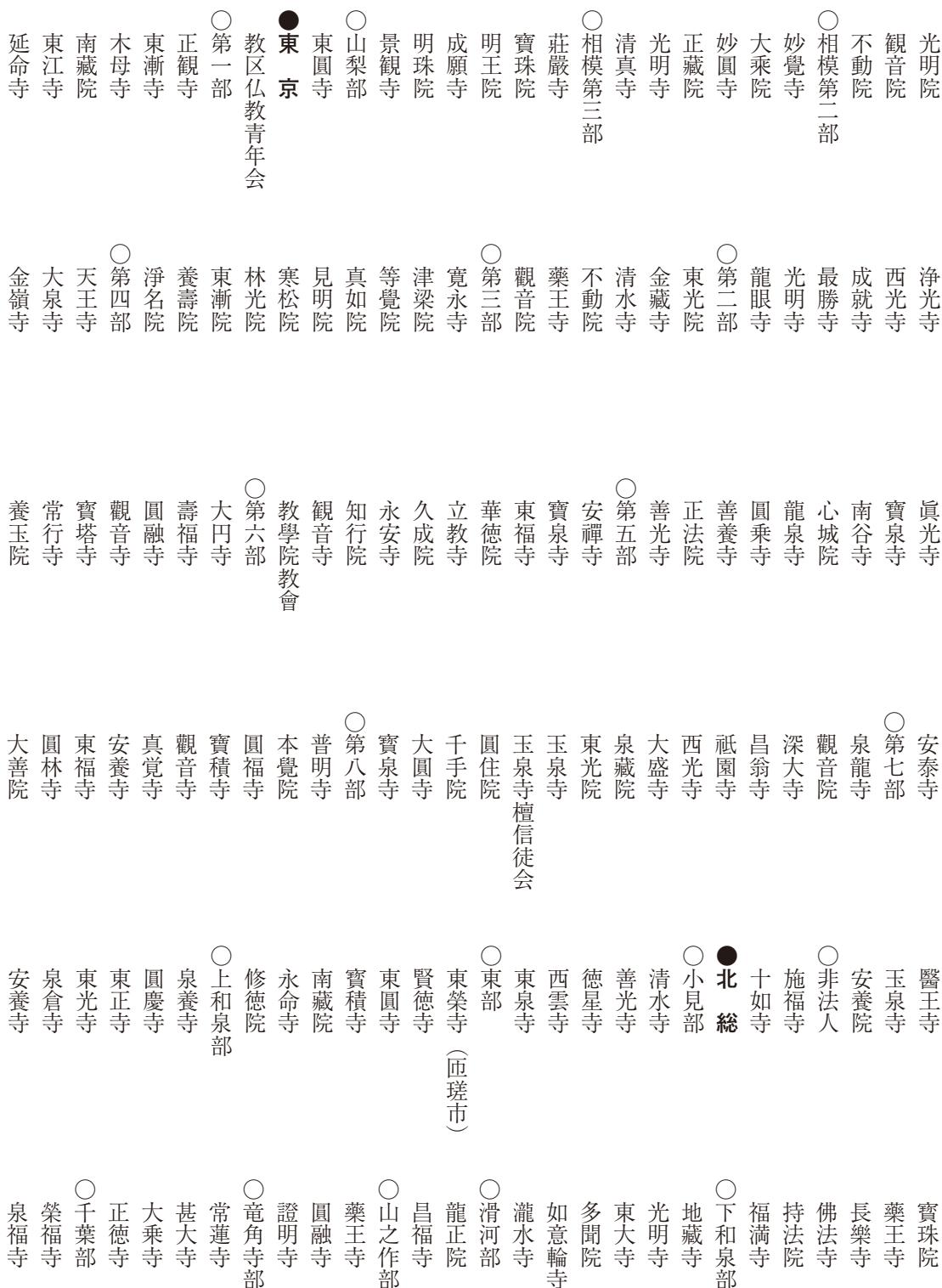
○肥前西部  
來雲寺 岩藏寺  
平仙寺 淨善寺 妙法寺  
○対馬部 西福寺 普門寺  
三岐

○三重一部  
朝田寺 延命寺  
○三重二部  
妙雲寺 寒松院 圓樂寺  
大日寺 金剛寺 觀音寺  
○岐阜一部  
新善光寺 眞禪院  
長命寺

○岐阜二部  
長命寺 東光寺

隅を照らす運動総本部により



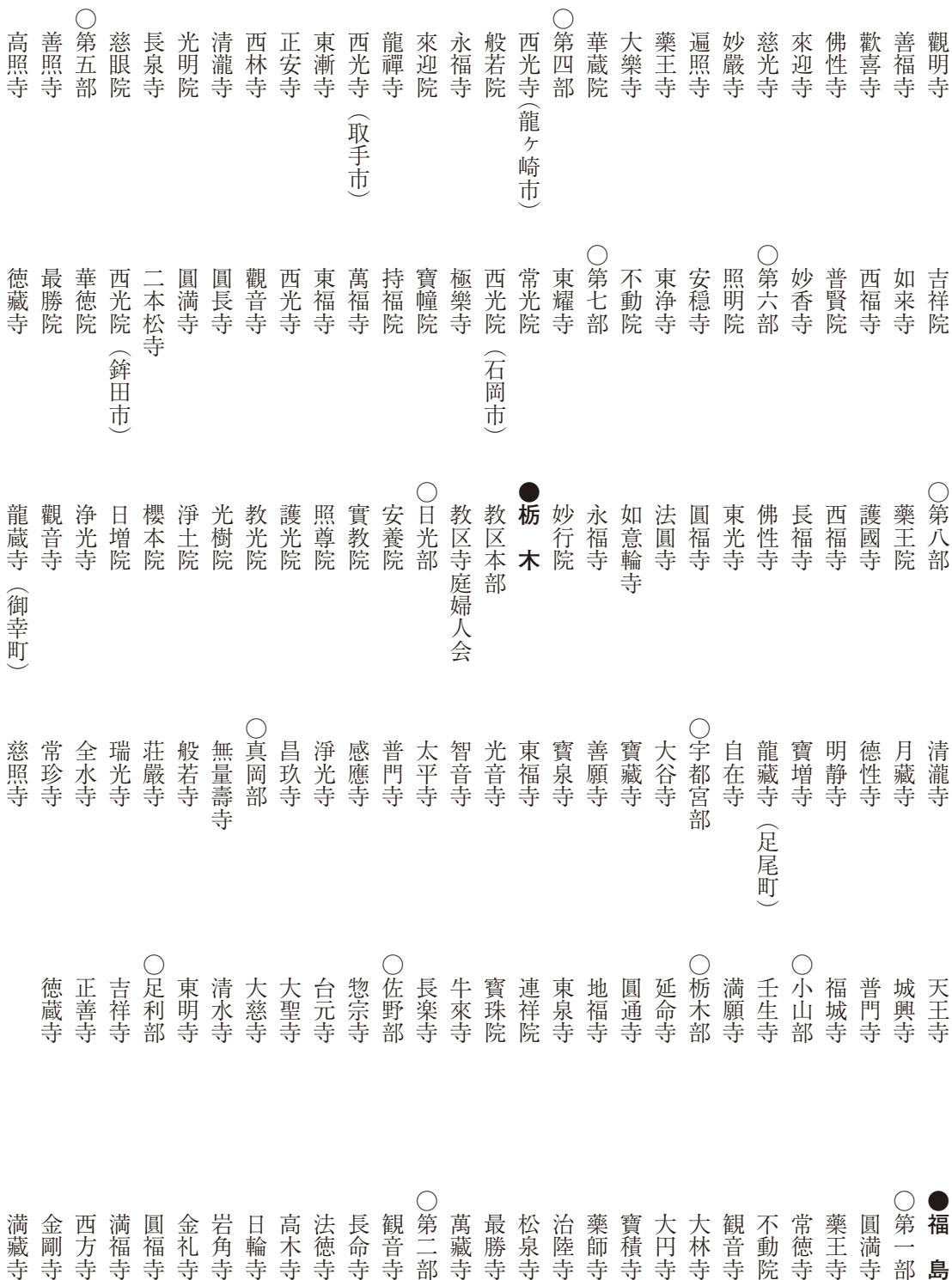




一隅を照らす運動総本部だより

○ 南前橋部	西光寺	圓滿寺	永福寺	極樂寺	乘明院	善光寺	圓福寺	圓藏寺	安養院	東榮寺	神樂寺	泉藏寺	長松寺	妙見寺	大壹寺	長泉寺	觀窓寺	大福寺	妙音寺	淨法寺	普賢寺	金藏寺	常行院		
○ 北前橋部	龍藏寺	大興寺	光琳寺	禪養寺	東榮寺	神樂寺	泉藏寺	安養院	東榮寺	神樂寺	光琳寺	長松寺	長松寺	妙見寺	大壹寺	長泉寺	觀窓寺	大福寺	妙音寺	淨法寺	普賢寺	金藏寺	常行院		
○ 西前橋部	珊瑚寺	珊瑚寺	珊瑚寺	珊瑚寺	北前橋部	大泉寺	石昌寺	法輪寺	高崎部	石昌寺	滿勝寺	藥王寺	藥王寺	高崎部	大泉寺	石昌寺	觀窓寺	大福寺	妙音寺	淨法寺	普賢寺	金藏寺	常行院		
○ 富岡多野部	光明院	壽福寺	滿願寺	施無畏寺	○ 富岡多野部	金剛院	壽福寺	光明院	○ 沼田部	東光寺	東光寺	東光寺	東光寺	○ 東前橋部	正圓寺	日輪寺	覺成寺	東昌寺	無量寺	善龍寺	安養寺	觀音寺	常行院		
○ 桐生部	龍泉寺	遍照寺	實相院	華藏院	○ 桐生部	正善寺	正善寺	正善寺	○ 伊勢崎部	東昌寺	東昌寺	東昌寺	東昌寺	○ 伊勢崎部	正圓寺	日輪寺	覺成寺	東昌寺	無量寺	善龍寺	安養寺	觀音寺	常行院		
○ 最勝寺	長安寺	大光寺	圓勝寺	普光寺	○ 最勝寺	華藏寺	華藏寺	華藏寺	○ 西群馬部	慈眼寺	慈眼寺	慈眼寺	慈眼寺	○ 西群馬部	正法院	應昌寺	寶禪寺	正法院	日輪寺	覺成寺	東昌寺	無量寺	善龍寺	安養寺	觀音寺
○ 長光寺	光明寺	光明寺	光明寺	光明寺	○ 長光寺	稱名寺	稱名寺	稱名寺	○ 第一部	福泉寺	福泉寺	福泉寺	福泉寺	○ 第一部	最勝寺										
○ 安樂寺	安樂寺	安樂寺	安樂寺	安樂寺	○ 安樂寺	千光寺	千光寺	千光寺	○ 本樂寺	藥王院	藥王院	藥王院	藥王院	○ 本樂寺	圓勝院										

隅を照らす運動総本部だより



○第三部 延命寺 寶來寺 法光寺 千用寺  
妙林寺 觀音寺 永藏寺 藏普賢寺  
妙藏寺 西藏寺 光明寺 幸福寺  
光明寺 景政寺 白山寺 常願寺  
景政寺 西藏寺 無量寺 常願寺  
無量寺 幸福寺 白山寺 常願寺  
常光寺 隨光寺 白山寺 常願寺  
延命寺 常光寺 隨光寺 常願寺  
本光寺 龍現寺 常光寺 隨光寺  
圓福寺 當勝寺 延命寺 常光寺  
圓福寺 當勝寺 延命寺 常光寺  
○第四部

○第五部 大高寺 妙樂寺 日光寺  
妙樂寺 大高寺 妙樂寺 日光寺  
日光寺 南岳院 教区本部  
南岳院 教区本部 教区本部  
○第一部 仙岳院 清淨光院  
仙岳院 清淨光院 教区本部  
清淨光院 仙岳院 教区本部  
○第二部

○第三部 西之坊 櫻本坊 中之坊  
櫻本坊 杉本坊 實相坊 大聖寺  
實相坊 杉本坊 實相坊 大聖寺  
大聖寺 万寶院 明光寺 非法人  
萬寶院 杉本坊 明光寺 非法人  
明光寺 梅本坊 非法人  
梅本坊 非法人

○第四部 正覺院 天台寺 正覺院  
天台寺 正覺院 正覺院  
正覺院 正覺院 正覺院  
○第五部 山形 中性院 ○山寺部  
山形 中性院 中性院  
中性院 梅本坊 中性院  
梅本坊 中性院 中性院  
○第六部

○第七部 文珠院 屋代部 無動寺  
文珠院 龍覺院 薬師寺  
屋代部 龍覺院 薬師寺  
龍覺院 薬師寺 圓滿寺  
薬師寺 圓滿寺 成就寺  
圓滿寺 成就寺  
○第八部 新庄部 松巖寺 嘉多院  
新庄部 松巖寺 嘉多院  
松巖寺 嘉多院 山崎庵三宝院  
嘉多院 山崎庵三宝院  
○第九部 北海道 月藏院 金壽院  
月藏院 金壽院 金剛樹院  
金壽院 金剛樹院 金剛樹院  
金剛樹院 金壽院 月藏院  
○第十部

○第十部 文珠院 屋代部 無動寺  
文珠院 龍覺院 薬師寺  
屋代部 龍覺院 薬師寺  
龍覺院 薬師寺 圓滿寺  
薬師寺 圓滿寺 成就寺  
圓滿寺 成就寺  
○第十一部 非法人 修驗道 安樂律 沖繩  
非法人 修驗道 安樂律 沖繩  
修驗道 安樂律 沖繩  
○第十二部 法流本部 善明寺 報恩寺 地藏院  
法流本部 善明寺 報恩寺 地藏院  
善明寺 報恩寺 地藏院  
○第十三部 善明寺 報恩寺 地藏院  
善明寺 報恩寺 地藏院  
○第十四部 法流本部 善明寺 報恩寺 地藏院  
法流本部 善明寺 報恩寺 地藏院  
○第十五部 非法人 御嶽山普寛教会  
非法人 御嶽山普寛教会  
○第十六部